

7月臨時会

個人番号カード再交付手数料の廃止に係る遠野市手数料条例の一部を改正する条例の制定及び、専決処分した次の内容の補正予算案が提出され、原案のとおり可決、承認されました。

【主な補正予算案】

- ★新型コロナウイルス感染症対策として実施する生活困窮者自立支援金
- ★子育て世帯生活支援特別給付金の支給
- ★新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保

意見書

◆**発議案第4号**
 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書

感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。地方自治体では、コロナ禍への対応はもと

より、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設への老朽化対策費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源が求められている。国においては、令和4年度、地方税制改正に向け、地方税財源の確保について実現されるよう強く要望する。

地域の交通対策は

地区の交通対策への取り組み状況について伺う。

地区の交通は、この地区においても重要な課題である。有償運送の他にも国で認められている制度や、ボランティア輸送についても、情報収集しながらそれぞれ工夫していく。

市内の交通事業者との間で、公共交通会議を開催しているが、その内容は、公共交通機関の利便の促進を図るため、

「市営バス」「福祉有償運送」の免許更新や、「路線バス」「デマンドバス」の路線見直等のほか、生活交通の確保対策について広く協議、検討している。

乗降調査を行うようだが、この公共交通会議には、地域の代表やバス利用者も参加しているか。

バス利用者から担当課に寄せられた要望を持って話し合いをしている。

免許返納者が増えているため、家族も大きな影響を受けている。

実態調査を行い、ど



地域交通はどこの地区においても重要な課題

決算特別委員会

決算特別委員会議長を除く17人の議員で構成、委員長菊池浩士議員、副委員長菊池巳喜男議員は、決算9件について付託を受け、審査を行いました。

今委員会では、令和2年度の事業成果等について活発な質疑答弁を交わしました。その結果、全9議案を原案のとおり可決・認定しました。

賛否の公表

賛否がわかれた議案等についてのみ掲載しています。

議案名	賛成	反対	
追加日程第1 菊池美也議員辞職勧告決議	10	6	可決
請願第1号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書	13	4	趣旨採択
請願第3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願書	10	7	採択

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
議員氏名	小松正真	佐々木恵美子	菊池浩士	佐々木敦緒	佐々木僚平	小林立栄	菊池美也	萩野幸弘	瀧本孝一	多田勉	菊池由紀夫	菊池巳喜男	照井文雄	荒川栄悦	安部重幸	新田勝見	佐々木大二郎
請願第1号	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	○	○	●	○	○	●	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対、-は棄権となります。
 追加日程第1については、無記名投票による採決のため、賛否は公表されません。
 審議結果は、遠野市ホームページで確認することができます。

遠野市議会 9月定例会 審議結果 [検索](#)

請願

◆**請願第1号**
 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願

「請願者」
 岩手県医療労働組合連合会 執行委員長
 中野 るみ子 (趣旨採択)

◆**請願第3号**
 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願

「請願者」
 岩手県教職員組合花北遠野支部 支部長 高橋 克典
 ほか1名 (採択)

請願第3号について、反対、賛成それぞれの立場から討論がありました。

反対討論

小林立栄議員
 教職員の給与等の国庫負担割合を3分の1とした経緯は、地方からの主張、要望によるもの。地方が主体的に教職員の給与、教職員数を決定できる等の改善が行われた。また、国庫負担が引き下げられた差額相当は、国からの交付税措置で確保されている。

2分の1への復元は、地方の裁量を減らすことになりかねず、地方分権に逆行する。割合を変えるのではなく、教育予算全体として財源の拡充を図り、遠野らしい教育環境の充実を進めていくべき。

賛成討論

小松正真議員
 遠野市の計画には、1校当たりの教職員数を比較すると遠野市内の小中学校共に全国平均に大きな開きがある

と記載がある。まさに教職員定数の改善は遠野市にとっても緊急で解決しなくてはならない重要な課題である。遠野市内の1学級あたりにかかる教材費の予算は、岩手県の中で3番目に低い。県平均に比べても倍近い差があるのが現状。日本から教育格差を無くすため、本市の教育環境を更に充実させるために本請願に賛成する。

議員発議

今定例会では、議員発議案(意見書1件)が提出され、可決しました。

この意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣、官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣宛てに送付しました。

道と川の市民協働推進事業について

道と川の市民協働推進事業の現状は、高齡化やコロナ禍であることが原因し、参加者が減ってはいるが、目標面積は達成で